2024年度第1回全国支部長会議

開催地 ZOOM オンライン上

時間 8月３日（土）13:00～14：40

参加者

【北海道ブロック】

・北海道ブロック長 若杉枝里

・西北海道支部長　横山まさみ

【東北ブロック】

・東北ブロック長　石郷岡浩

・南東北支部長 高橋孝一★

【関東甲信越ブロック】

・関東甲信越ブロック長 後藤成美

・東京・山梨支部長 志茂野由佳里

・常総支部長 岡田典子

【東海ブロック】

・東海ブロック長　山本和紀

【近畿ブロック】

・近畿ブロック長 加村友多★

・京都南支部長 森實早希

・大阪支部長 小川恭子★

・滋賀支部長 坂居昌樹

【九州ブロック】

・福岡副支部長 原三佳

・沖縄支部長 前田康行

通信学生課　竹内様　谷口様

★：本学参加者

**本日次第**

学友会会長 開会挨拶

議長選出（異論が無ければ総務部加村が議長 広報部小川が書記）

* 2023年度学友会予算の報告と採決・承認（担当　会計部）
⇒2023年度学友会会計決算報告において、異議無く承認されました。
* 2024年度学友会予算について・承認（担当　会計部）
⇒2024年度予算書(案)について、質問・異議無く承認されました。
* 全国各支部・ブロックの活動報告（司会　総務部　回答は全国支部ブロック長）
・北海道ブロック長　若杉様…6月に近畿ブロックとの共同開催で読書会を行った。

・東北ブロック長　石郷岡様…今年度、2元開催の学習会を1～2回行いたい。

・関東甲信越ブロック長　後藤様…4月2元開催、5、6月オンライン開催の学習会を行った。

　　　　　　　　　　　　　　　　8月、11月、R7.2月学習会予定。

11月近畿ブロックと共同、2元開催予定。

R7.2月東海ブロックと共同、2元開催予定。

　　　 ・東海ブロック長　山本様…4月、6・7月近畿ブロックと共同、2元開催の学習会を行った。

　　　　　　　　　　　 　　　　　　　 これからも定期的に開催する予定。

　　　　　　　　　　　 　　　　　　　 9月は、新しい試みとして仏教学科メインの学習会を行いたい。

　　　 ・近畿ブロック長　加村様…現在、大阪・京都南・京都北・神戸丹波・滋賀支部それぞれ

年2回づつ開催できるよう協力体制をとっている。

　　　 ・中国・四国ブロック…中国ブロック長は在籍。本部役員会・学習活動部含めて色々な方向性を模索

する。近畿ブロックもオンライン・対面等、どのように協力できるか模索し、

考えていきたい。(近畿ブロック長談)

　　　 ・九州ブロック　前田沖縄支部長(代理)…5月福岡、7月熊本で2元開催した。

新しい試みとして、開催後アンケートを実施し、次回に活かす。

アンケート項目として、居住地、満足度、希望する企画等。

アンケート結果から7月の学習会で、bird(図書館)・地元の特産品紹介をする。

　　　　補足として

　　　　 ・北陸ブロック…昨年学習会を企画したが、地震の為学習会開催を中止した。

　 状況を見ながら検討する。

　　各支部より(順不同、議長指名)

　　　　 ・福岡副支部長　原様…福岡での2元開催、対面会場に4名参加。その後継続的に学習会に

　　　　　　　　　　　　　　　 参加されている。認知度が上がっていると感じる。

　　　　　　　　　　　　　　　 アンケートを実施することで、悩み、困りごとの共有ができている。

　　　　　　　　　　　　　　　 10月に沖縄での2元開催予定。みんなで協力していきたい。

　　　　 ・常総支部長　岡田様…後藤関東甲信越ブロック長とともに協力して行っている。

　　　　　　　　　　　　　　　 新規の方が学習会の情報を得られているが、その他の方には、

認知度が低い様に感じる。学友会活動の認知度が上がるといいなと思う。

　　　　 ・東京・山梨支部長　志茂野様…後藤関東甲信越ブロック長が話された通りです。

　　　　 ・西北海道支部長　横山様…若杉北海道ブロック長がおっしゃった通り活動しております。

　　　　 ・滋賀支部長　坂居様…7月、東海ブロック様と共同開催を行った。対面、オンラインそれぞれの

　　　　　　　　　　　　　　　 良さを感じる。滋賀支部として、年2回開催することができている。

　　　　　　　　　　　　　　　 R7.1月に2元で学習会を開催予定。他の近畿ブロックの学習会にも

　　　　　　　　　　　　　　　 協力していきたい。

　　　　 ・大阪支部長　小川…近畿ブロック内での協力はもちろんのこと、

東海ブロック様、関東甲信越ブロック様など他のブロックとも協力して

学習会開催していきたい。

　　　　 ・南東北支部長　高橋様…南東北支部は宮城・山形・福島の三県で構成されている。

　　　　　　　　　　　　　　　　 北海道ブロック長の若杉様と共同開催で月1回「朝活」を行っている。

　　　　　　　　　　　　　　　　 2～30名、参加されている。

　　　　　　　　　　　　　　　　 仙台市や盛岡市で2元開催を行いたい。

　　　質問・ご意見

　　　　　Q：沖縄支部長　前田様→対面開催するにあたり機材の準備、設備の準備等、準備ができる人が

いない場合、支部で開催するにはどのような方法が考えられるか？

　　　　　　　　　　　　　　　　（例えばPC、zoomの設定、プロジェクター、マイク、スピーカーの接続

方法の伝達、構築）

　　　　　A：南東北支部長　高橋様→PC一台でも、話をするときに交代で近づいて話す。

　　　　　　　　　　　　　　　　　 設備の整っている会場を探す。

　　　　　A：関東甲信越ブロック長　後藤様→自前では機材を持たない。完全に設備が整っている会場を

　　　　　　　　　　　　　　　　　　利用する。利用料金は高めだが、サポートが手厚い。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　そういう系列施設を利用する。接続方法も回数を重ねると覚える。

* 学友会ハンドブックの全面改定に至るまでの暫定措置の提案・承認（司会　総務部）
⇒役員会議にて再協議するため、議題取り下げ。
* 夏の祭典行事　〜縁（えにし）ふたたび〜 　についての説明（司会　企画部）
⇒学生課様よりご説明。

　日時、会費、タイムスケジュール、イベント、会場レイアウト等のご説明。

　翌週から、申し込みを再開する。

⇒加村総務部長より、物産をまだ送付されていない方、郵送若しくは、当日持参願います。

⇒高橋会長より、浴衣で参加していただくのはいかがでしょうか。

⇒関東甲信越ブロック長後藤様から、2000円という金額を超過したが…。ブロック内で調整する。

* 各支部長・ブロック長より個別の提案・承認（司会　総務部）
・沖縄支部長　前田様より提案→どのようなサポーター様がいるのかわからない。

学習会のテーマによって、選択したい。

　　　　　⇒学友会活動についてのサイトを考えている。それに学習サポーター様の一覧や紹介するページを

　　　　　　設ける予定。

　　　　　　現在、B-netポータル「学びの支援サイト」内に匿名ではあるが、公表可能なサポーター様の

紹介するページを設けている。参考にしていただきたい。

　　　　　　その他の方については、通信学生課に問い合わせ願います。　(学生課様)

　　　　　⇒事例紹介→学生課様に問い合わせ、連絡を取ってもらった。

　　　　　　提案→関東甲信越ブロックの学習会において、人数の課題の件、学習会の予定を2か月または、

それより多く掲載できる仕組みづくりを学生課様と考えている。改善策になるのでは。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(東海ブロック長　山本様)

　　　　・高橋会長　提案及びご意見を伺いたい

→2023年度第２回支部長会議で、「宿泊費の上限金額」について皆様の認識を伺いたい。

　　　　　⇒２023年度第２回支部長会議議事録を確認したが、承認には至っていないような記載。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(関東甲信越ブロック長　後藤様)

　　　　　　　　　高橋会長→支部長会議という機会に、協議してはいかがでしょうか。

　　　　　⇒ブロック長・支部長が集まっている機会に「宿泊費の上限金額」について本会議で承認の有無に

ついての協議をしてもよいと思う。(会計部長)

　　　　　　　　　高橋会長→「￥10,000-から￥13,000-」に変更することにご了承はいかがでしょうか。

　　　　　⇒異議なし。「￥10,000-から￥13,000-」の変更は、了承され、承認。

　　　　　　ただし、8月17日の夏の夕涼み会から適応。8月17日以前は、「￥10,000-」で対応する。

・関東甲信越ブロック長　後藤様　ご意見・対応を伺いたい。

　　　　　　　　　→中国語学科の方達からのご意見。

　　　　　　　・中国語学科のスクーリング、zoomが多い。

　　　　　　　・履修形態が全て演習、購読、研究、導読は史料を読解していくもの、１講座15ページに及ぶ

　　　　　　　・資料の送付が1ヶ月前であり、かなりハードである。

　　　　　　　・シラバスに掲載されている原書、手にはいらない物もある。　　　　　　以上問題点。

　　　　　　　・1カ月に1講座受講する。　　　　　　　→長期間大学に通わなければならない

　　　　　　　・図書館で見つからなければ、購入する。　→探すことをシラバスに掲載してほしい

ご本人達が考えられた解決策、それに伴うデメリット

　　　　　　　・2～3カ月前に資料を提示してほしい。

　　　　　　　・シラバスに資料を具体的に開示、もしくは入手する方法を記載してほしい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　改善案

　　　　　　　・講師の批判ではなく、大学側が把握しているのかを知りたい。

・個人的な意見ではなく多数人の悩み・困りごとである。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　まとめ

　　　　⇒第4回本部役員会議において小川より、ご提示し、共有していただいた。

　　　　　ご意見の内容が学習を進める上での大きなながれであるので、回答に時間を要する。　学生課様

　　　　・後藤様→ご本人には、支部長会議で話をする事や結果を話すことを伝えている。

　　　　⇒(後藤様からご本人に)報告していただき、大学の方で預かっている旨、伝えていただきたい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学生課様

　　　　・後藤様→了解いたしました。

　　　　　　　　→回答方法について、ご本人様に回答方法等を伺い、その返答に応じて対応する。

　　　　⇒(おそらく)同様の内容に対し、ご本人の要望の一つである「大学に伝える方法の有無」の

　　　　　お尋ねがあった。調査渉外部のアンケートで伝えることができると返信し、

「アンケートに回答した」と返信があった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　広報部　小川

⇒公式な回答または、個人に回答、ご希望はどちらでしょうか。　　　　　調査渉外部　志茂野部長

・後藤様→大学が把握しているのかを知りたいことも、ご希望の１つである。やり取りの中で

　　　　　伝わっていると推察される。

⇒関係各所で拝見していると伝えていただきたい。　　　　　　　　　　　調査渉外部　志茂野部長

・後藤様→大学が把握している事、個別の回答を希望するならば、お名前・学籍番号をいただき、

　　　　　直接やり取りできるよう、つなげる旨を伝える。

・高橋会長からの提案及びお願い→中国・四国ブロック、北陸ブロックを盛あげていきたい。

　　　　　　　　　　　　　　　　課外活動部やスクーリングでの知り合いを教えてほしい。

学友会会長　閉会挨拶